

**孔子**（名は丘。「孔子」は孔先生の意味）

・孔子は、中国の魯国で、紀元（キリスト誕生の年）前五五二年に生まれたと記されています。

・幼くして父、やがて母が亡くなったために、貧窮の中で家計を支えながら独学で学問に励み、三十代には深い学識の持ち主だという評判が立って弟子入りする人が増えました。「少くして賤し。故に鄙事（つまらない仕事）に多能なり。」「吾れ十有五にして学に志す。三十にして立つ。」とは、そのころを振り返って語ったものです。

・五十代には魯国の司法長官に就任しましたが、既得権益を守ろうとする貴族に邪魔されて失脚し、弟子たちを連れて魯国を離れ、自分の政治理想を理解してくれる君主を求めて諸国を巡る旅に出ますが、乱世のさなか孔子を受け入れてくれる君主はいませんでした。十四年にわたる旅の末に帰国し、七十三歳で生涯を閉じました。

### 論語の基礎知識

・『論語』は、主に孔子が語った言葉や、弟子との問答を弟子たちが集めてまとめたものです。孔子の死後百年ほど後に編纂が始まり、およそ四〇〇年を経て現在ののような形態になったと言われています。

・『論語』は、全体が二〇篇の構成で、五〇〇あまりの章句が収録されています。各篇には最初の文章の冒頭の二文字から名前が付けられています（学而篇など）が、テーマごとのまとまりがあるわけではありません。

・長い年月に洗われた『論語』の数々の文章は、仁・礼・信・義・智・忠・孝・悌などの言葉について語られ、日本人の「学ぶ心や礼節を重んじる態度」の基盤、現代人の在り方生き方の鑑となっていると言われます。

## 〇〇〇〇高等学校1年生 講堂学習資料

令和8年〇月〇日（〇） 於 旧閑谷学校・講堂

4	質の高い教育をみんなに
10	人や国の不平等をなくそう
16	平和と公正をすべての人に
17	パートナーシップで目標を達成しよう

### 今日の問い

人格の完成をめざすには？

～Well-beingを向上させる～

〇①学習や部活動「やりがいを感じたこと」、生きがいを感じる  
こと（獲得的要素）、

②人とのつながりや利他的行動、社会貢献などの活動の中で  
幸福感を感じること（協調的要素）

〇自分を励ます言葉（座右の銘）を持っていますか？



令和7年度備前市立吉永中学校1年 横山聡さん

(1) 子曰く、「参よ、吾が道は一以て之を貫く。」曾子曰く、「唯。」子出づ。門人問いて曰く、「何の謂いぞや。」  
曾子曰く、「夫子の道は忠恕のみ。」 (里仁第四・十五)

(2) 子貢 問いて曰く、「一言にして以て終身之れを行うべき者有りや。」子曰く、「其れ恕か。己の欲せざる所を人に施すこと勿れ。」 (衛霊公第十五・二四)

(3) 子曰く、「人の己を知らざるを患えず。人を知らざるを患うなり。」 (学而第一・十六)

(4) 子曰く、「君子は諸を己に求め、小人は諸を人に求む。」 (衛霊公第十五・二〇)

孟子曰く、「行いて得ざる者有れば、皆諸を己に反求す。」(『孟子』離婁上第四章)

(5) 子曰く、「之れを知る者は之れを好む者に如かず。之れを好む者は之れを楽しむ者に如かず。」 (雍也第六・二〇)

(6) 子曰く、「徳は孤ならず、必ず鄰有り。」 (里仁第四・二五)

【〇〇〇高等学校】

(1) 孔先生がおっしゃるには、「参よ、私の道はただ一つのもので貫かれている。」曾子は言った。「はい。」先生が出て行かれた後、他の弟子が尋ねて言った。「どういう意味ですか？」曾子は言った。「先生の道は忠（まごころ）と恕（思いやり）で貫かれているということだ。」

(2) 弟子の子貢が「人間として、一生涯行っていくのにふさわしいことを一言で言うとは何でしょうか。」と尋ねると、孔先生は、次のように答えられた。「それは恕（思いやりの言動）であろう。自分がしてほしくないことを、他人にしてはいけない。」と。人に対して「思いやり」をもつことが一番大切だということである。言い換えると、自分がしてほしいと思うことを、他の人にしていくことが大切であるということである。

(3) 君子は何かを実現しようとする時、まずは自分の力でできることをしようとするが、小人は最初から他人の力をあてにするし、何かで失敗した時も、君子はまずわが身を顧みて反省するが、小人は他人のせいにする。

(4) 自分が人から認められないことは気にせず、自分が人を認めないことを気にしない。  
さい。

(5) それを知っているというだけの者よりもそれを愛好する者にはかなわない。それを愛好する者はそれを真に楽しむ者になわない。

(6) 有徳者は決して孤立するものではなく、必ず理解者が出て来るものだ。